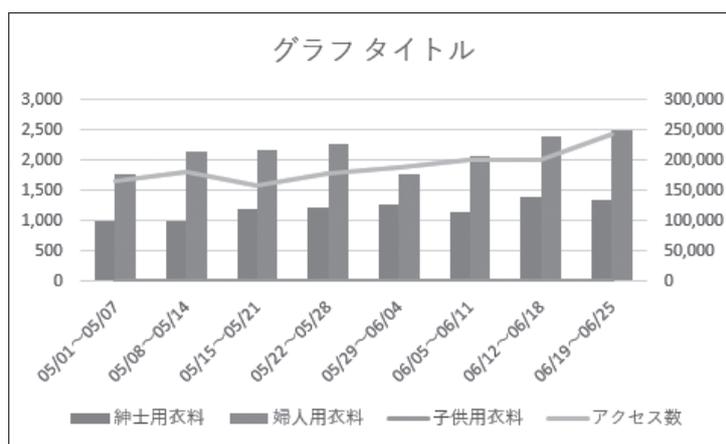


## 1 複合グラフ

複数のデータ系列のうち、特定のデータ系列だけグラフの種類を変更できます。  
たとえば、棒グラフの複数のデータ系列のうち、ひとつだけを折れ線グラフにして、棒グラフと折れ線グラフを同一のグラフエリア内に混在させることができます。  
同一のグラフエリア内に、異なる種類のグラフを表示したものを「複合グラフ」といいます。複合グラフは、種類や単位が異なるデータなどを表現するときに使います。  
複合グラフを作成する手順は、次のとおりです。

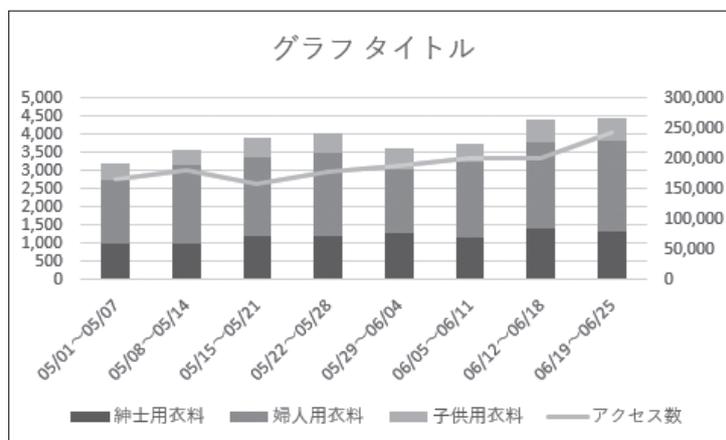
## 1 グラフを作成する

グラフのもとになるデータの範囲を選択してグラフを作成します。



## 2 データ系列ごとにグラフの種類を変更する

データ系列ごとに、グラフの種類を変更します。  
また、データの数値に差があってグラフが見にくい場合は第2軸を追加します。



## 複合グラフ作成の制限

2-D (平面) の縦棒グラフ・折れ線グラフ・散布図・面グラフなどは、それぞれ組み合わせて複合グラフを作成できますが、3-D (立体) のグラフは複合グラフを作成できません。  
また、2-D (平面) でも円グラフは、グラフの特性上、複合グラフにできません。

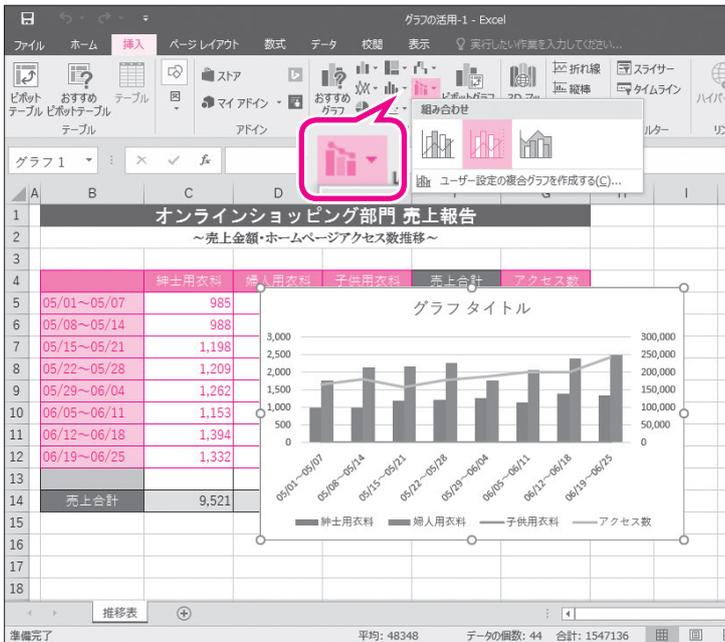
## 2 複合グラフの作成

積み上げ縦棒グラフと折れ線グラフをひとつにまとめた複合グラフを作成しましょう。

**File OPEN** フォルダー「第3章」のブック「グラフの活用-1」を開いておきましょう。

### 1 基本グラフの作成

セル範囲【B4:E12】とセル範囲【G4:G12】のデータをもとに、複合グラフを作成しましょう。



- ①セル範囲【B4:E12】を選択します。
- ②【Ctrl】を押しながらセル範囲【G4:G12】を選択します。
- ③《挿入》タブを選択します。
- ④《グラフ》グループの  (複合グラフの挿入) をクリックします。
- ⑤《集合縦棒-第2軸の折れ線》をクリックします。



複合グラフが作成され、「紳士用衣料」と「婦人用衣料」が縦棒、「子供用衣料」と「アクセス数」が折れ線で表示されます。  
※リボンに《デザイン》タブ・《書式》タブが追加され、自動的に《デザイン》タブに切り替わります。

1

2

3

4

5

6

7

8

総合問題

付録1

付録2

付録3

索引